

# 合格体験記

令和2年12月31日

## 1. プロフィール

製造業に努める50歳代後半のエンジニアです。

中小企業診断士を受験しようとしたきっかけは、たまたま本屋でみかけたテキストを手にとって読んでみたことです。その時なぜテキストを手にとったのかは覚えていません。ただこの資格に必要とされる能力は現状の仕事に必要なものでもあり、また、もともと小さな企業に興味があったので、まずは1次試験の勉強を試みることにしました。

2次試験は思ったよりも難関でしたが、4年かかって今年合格することができました。

## 2. 過去試験結果

H29：1次合格

2次 事例Ⅰ B(53) 事例Ⅱ B(54) 事例Ⅲ A(68)  
事例Ⅳ A(61)

H30：2次 事例Ⅰ C(48) 事例Ⅱ A(60) 事例Ⅲ A(64)  
事例Ⅳ B(54)

R1：1次合格

2次 事例Ⅰ C(48) 事例Ⅱ C(44) 事例Ⅲ B(59)  
事例Ⅳ A(61)

## 3. SLAを選んだ理由

SLAを選んだ理由は2つです。1つ目は2次試験の模範解答が論理的でありスキがない解答だったことからこの解答を作成した先生のもとで勉強したいと思ったこと、2つ目は基本的に倉前先生が対応してくださるので添削やアドバイスが一貫していると思ったことです。

実際に受講してみると、押し付けではなく、生徒一人一人の解答や個性を生かしたご指導であり、頑固者の私でも素直に受け入れることができるものでした。

## 4. R2年受験に際して意識したこと

SLAで受講した年は残念ながら不合格でしたが、今振り返ると先生の指摘やいいことをちゃんと理解できていなかったのだと思いました。私は技術屋なのでついついちょっと違った視点を入れたくなり、そこを評価してもらったりするとうれしく感じるという受験生としては「弱み」を持ってました。なので今年は「初心に戻って素直になること」を意識しました。

過去問の与件や設問の分析を再度やり、実際に解答しましたが、その際過去の SLA でのノートの書き込みを再度よく読みました。そうすると当時はこれでいいと思っていた自分のベスト解答でさえも、論理が飛躍していたり、自分のこだわりを無理やり解答していたりしていたことに気がつきました。そして、倉前先生の添削をよく読むと、そのことを別の言い方で指摘してくれていたことにも気がつきました。先生の指摘の本質やいいたいことを消化できるように自分が成長するに 2 年が必要だったのかもしれない。

過去試験の高評価と低評価の解答を分析し高評価の解答を参考にしたり、写経したりなどやりましたが高評価と低評価の両方を比較することで、何が点差となっているのかがわかった気がします。高評価の解答はとにかく読みやすいものが多く、根拠は与件から引っぱっていて論理も飛躍していませんでした。一方、低評価の解答は一見切り口や論点は合っているのですが、読みにくかったり、論理に飛躍があったりしていました。これがわかってからは、因果や論理性、出題者の想定している言葉かどうかに気をつけるようになりました。

もう一つ気をつけたことは 80 分でできるようになることです。自分のこだわりや最高の解答を作成するよりも、どんな問題が来ても 80 分で多くの合格者と同じレベルの解答を書くこと、そのためのプロセスをしみこませること、これを練習しました。設問分析、与件読解、全体の課題や戦略、解答骨子、それぞれがどの程度の時間がかかるのかを確認し、ある程度ばらつきはあるものとして、それでも時間を節約する方法をいろいろと試したりしました。

## 5. 試験当日

R2 年は 1 次試験の会場として 2 度ほど行ったことがある新横浜の東芝の研修所でした。試験を受けたことがある場所なのでリラックスできたと思います。

事例 I はちょっとかわった問題だと思いながら解いてました。事例 II は「また SWOT か」と思いながら、40 字の制限で解答を書くのに予想外に時間がかかってしまいました。事例 III は第 4 問の助言としてピックアップしたものを第 2 問で使うことに変更したり、建屋の改装を解答に書いてもいいのかどうかを躊躇したもの、事業拡大のためには必要な施策として助言したり、当日対応の連続でした。事例 IV は設問 1 の財務分析での指標選択が最後まで決まらなかったものの、記述を先に解答し、できそうな問題から解答することができ、最後には残った時間で後回しにした問題もほとんど解答することができました。

当日はいろいろとあるものなのですが、パニックにならずに対応できたのは、80 分の解答プロセスを練習していたことが役立ったと思います。

## 6. 最後に

4年かかってやっと合格できました。この試験は1年でストレート合格する人もいれば、4年なんか甘いとおっしゃられる多年度受験で合格されている方もいます。今年やったことをもっと早くやっていたら、もっと早く合格していたかもしれません。でも4年かかった合格で自分にとってはよかったのだと思っています。2次試験を中小企業の診断と助言を行う予行演習だと捉えると、分析の基礎力向上や、与件（社長）に寄り添い、わかりやすい言葉と内容で伝えること、自分のこだわりを押しつけないこと、など学んだことはたくさんありました。合格するまで時間がかかったとしても、それはそれで必要な準備期間だと後で思えばそれでいいのかと思います。